建設者

今月の葛飾組織現勢

2016年10月1日	4,582人
加　　入	108人
転　　入	1人
脱　　退	30人
転　　出	1人
2016年11月1日現在	4,660人

東京土建一般労働組合
葛　飾　支　部
〒124－0012 葛飾区立石8－34－4
電　話　(5698)１２６１
ＦＡＸ　(5698)１２６２
発行人　大山艶子

秋の拡大月間

	目　標	到達
新小岩	4	●●●●
西新小岩	4	●●●●●●
東新小岩	10	●●●●●●●●●●
奥　戸	15	●●●●●●●●●●●●●●●
本　田	8	●●●●
立　石	4	●●●●●
青　戸	8	●●●●●●●●●●
お花茶屋	6	●●●●●●●
堀　切	11	●●●
二　葉	8	●●●●●●●●
西亀有②	3	●●●
亀　有	10	●●●●●●●●●●●
細田高砂	13	●●●●●●●●●●●●●
柴　又	8	●●●●
新　宿	5	●●●●●
金　町	5	●●●●●
東金町	4	●●●●●
東水元	7	●●●●●●●
北水元	7	●●●●●●●●●●●
幸　田	9	●●●●●
飯　塚	7	●●●●●●●●●●
その他	7	●●●●●●●●●●
合　計	163	164

青年部	14
女性の会	10
建長会	25

2016年11月１日現在

おつかれさまでした

164人の仲間を迎えて達成

秋の拡大月間

秋の拡大お疲れ様でした。実増に向けて、がんばるぞー！

つながりを深めて次へ

新加入者と交流を

9月から2ヶ月間取り組んだ秋の拡大月間は、中盤までは順調でしたが、後半はやや失速し苦戦しました。最後まであきらめない粘り強い取り組みのおかげで、支部目標163人に対し、164人の新たな加入者を迎えて、達成となりました。

残念ながら全分会達成とはなりませんでしたが、21分会中17分会が達成し、超過は7分会でした。今回達成した分会もできなかった分会も、月間中の奮闘ありがとうございました。また、秋の拡大は終わりましたが、最後の年末拡大が残っています。秋の拡大で加入まで結びつかなかった対象者がいましたら、最後に年間目標を追いかけて、もうひと頑張りしましょう。

11月1日（火）、支部会館3階で打上式を行いました。

今回、初の取り組みとして訪問アンケートのプレゼント企画がありました。アンケートを書いてくれた人、アンケートを持って訪問した人に景品が当たる抽選会を開催。

それぞれの分会で集めてくれたアンケートは合計約400枚になりました。

また、1割回収達成（二葉・東水元）と2割回収達成（本田・立石・お花茶屋・柴又・新宿・金町・北水元）の表彰をしました。

中間決起にBBQを開催したり、訪問アンケートを用意したりと、今回は対話をきっかけに繋がりを深めていけるように取り組みを行ってきました。分会でも群会議で声をかけてもらったり、レクなどに誘ったり、繋がりを深めていくように声がけをしていきましょう。

超過を目指して

青戸分会　中間決起

9月28日（水）に目標達成した青戸分会。10月11日（火）に拡大目標達成と超過を目指して、中間決起を行いました。目標達成で終わらず、できるところまで超過を目指していくと意思統一をして、乾杯しました。

今回、順調に組合員を増やしてきた青戸分会。3人の超過という結果で月間を終えました。

寅さん

10月7日、過労死等防止対策白書が公表された。同日、電通の新入社員が過労自殺で労災認定を受けた。

過労死ラインと呼ばれる残業時間が月80時間。彼女の月の残業時間は100時間を越えていたという。SNSなどでは、同じように100時間を越える残業をしているといった反応が多くあった。

多くの人がそういう状態にあるが、それでいいとは思っていない。武蔵野大学の長谷川秀夫教授が「残業時間が100時間を越えたぐらいで過労死するのは情けない」と投稿して、批判を浴びた。

ではなぜ残業が多くなるのか。過労死等防止対策白書での調査報告では、様々な要因があげられている。建設業においては、企業からは「顧客からの不規則な要望に対応する必要があるため」、労働者からは「人員が足りないため」という答えが多かった。これらを改善するためには、業界全体、社会全体で動いていく必要がある。

改善の取り組みとして、10月に大手企業交渉が東京土建を含む6県連組合で行われた。賃金の引き上げ、社会保険未加入の問題、後継者不足への対応などの話をした。今すぐ劇的に変わるということはないが、地道に交渉を重ね、現状を知ってもらい、改善につなげることが大切だ。

ついでに、11月は「過労死等防止啓発月間」。過労死やその防止について、少し考えてみてはどうでしょうか。

中学生の職業体験授業 片岡工務店
大工ってどんなお仕事？

オリエンテーリングにて。左から、講師の片岡さん、葛美中学校の渡邉くん、中くん、寺内くん、須釜くん

10月11日（火）から14日（金）の4日間、葛美中学校の男子生徒4人が職業体験授業に来ていました。講師は、技術対策部長の片岡茂樹さん。葛飾人材育成支援センターの事業の一つとして、今回引き受けました。

行ったのは、9月の復興支援住宅デーの上棟式で利用したものを、長さを短く加工するというもの。11～13日の間に片岡工務店で行い、14日に葛飾支部会館で建てました。

事前の顔合わせとして、10月7日（金）にオリエンテーリングを片岡工務店内で開催。

まずは、片岡さんの自己紹介から。持っている資格や技術センターでの講師など、大工としての仕事だけでなく、後進の育成にも取り組んでいることを話していました。

次に4日間で行うことや大工の仕事内容、大工の仕事道具について話しました。使い捨ての道具もたくさんありますが、片岡さんの見せてくれたものは手入れをしながら、長く使えるものばかり。大工は道具がなくては仕事が出来ない。そう言って、一つ一つ丁寧に仕舞ってあった道具を見せてくれました。作られた時代が明治や江戸などと話が出てくると、中学生も驚いていました。

片岡茂樹さん

いざ、大工の仕事を体験

職業体験が始まって、まず最初に行ったのは墨付け用の筆作り。それぞれ叩いて、自分のものを作りました。

建て終わってから記念撮影。この後、解体もやりました

それから、片岡さんの指示に従い、墨付けをし、木材を切っていきます。とはいえ、ただ言われたとおりに行うというのが難しい。差し金の使い方、自分と木材との位置、のこぎりの使い方など、なれない作業を色々考えながら、一つ一つやっていきます。

ひとりひとり性格も違うし、得意不得意もあります。すぐ理解できる子もいれば、理解できない子も。理解できないで見まねでやっていると、当然間違いも出てきます。そのときは、何が違うのか自分で考えてもらっていました。気がつかないときは、ヒントを与えます。そして、自分の間違いは自分で直してもらう。つい手を出したくなるところですが、片岡さんはじっと見守っていました。

中学生が驚いていたのは、作業の途中で数学の知識が使われていること。勉強が得意ではない様子で、数学の知識を問われると悩んでいました。片岡さんからの丁寧な説明と実地で少しずつ理解していったようでした。

これでよかったっけ？　お互いに話をしながらすすめます

建てて　解体して

3日間材料の加工を行い、最終日はいよいよ建て方です。加工している間に、何を組み合わせ、どうなるのかを話してはいましたが、実際やってみると大違い。指示と違うものを持ってきたり、向きを間違えたり。その都度指摘をし、自分で考えて直してもらっていました。

そうして、出来上がったものを見て、中学生たちは嬉しそうにはしゃいでいました。スマホを取り出して、それぞれ写真を撮っていました。

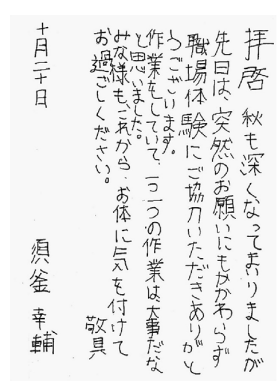
もちろん、建てて終わりではなく、解体もやります。建てたときとは逆の順番で組んでいた木材を外していきます。三日間の間で掃除もすっかりなれたようで、さっさと終わらせていました。

片岡さんからは「けがなく終わって、よかった。今回の加工から建て方までの体験を通して、中学生の子どもたちが、少しでも『ものづくり』のよさや楽しさ、自分で作ったものでお金をもらい、それを喜んでもらえる素晴らしさを知ってくれると嬉しい。こういう取り組みに協力できてよかった」と感想をもらいました。

建設業を目指してくれることが一番ですが、今回の体験を通じて学んだものをこれから生かしてくれると嬉しいです。

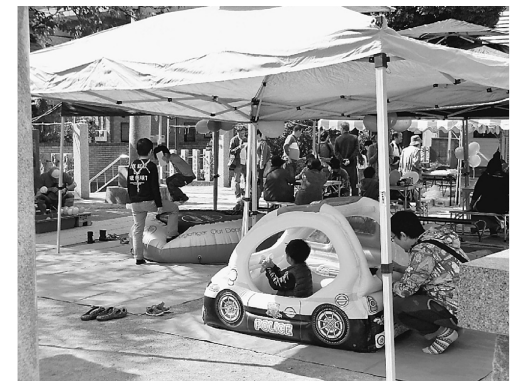
ちなみに、今回使ったものは、11月13日（日）に新宿みらい公園で行う「住宅デー」でも使用します。こちらでは建てた後に餅まきを行います。中学生たちの努力をぜひ見に来てください。

まっすぐ引くのは難しいです



9月24日、お礼状をいただきました

はしゃぐ子どもたち
秋の住宅デー 奥戸分会



遊び場には子どもが集まります

10月23日（日）、奥戸分会が住宅デーを行いました。場所はおなじみの奥戸天祖神社です。一時期、雨の予報も出ていましたが、当日はきれいに晴れていました。

全体の参加者は250人。包丁は133本を研ぎました。

今回は事情があって、チラシの配り方がいつもと違いました。若手組合員に幼稚園の知り合いの方へ配ってもらったり、町会のこども会を通じて配布したりが中心。そのおかげか、初めて来てくれた親子もいました。

休憩用のスペースと子どもたちが遊べるものを置いているおかげで、包丁研ぎを依頼したあと、やきそばやフランクフルトなどを食べながら、ゆっくり待っていられます。

50円のチケットを受付時に一人2枚ずつ配布しています。子どもたちはそれを持って、あれこれと見て回るのが楽しそうでした。

遊び場のトランポリンで飛び跳ねる子や、空気で膨らませるボートやパトカーなどに乗って楽しそうに遊ぶ子、おもちゃを手に境内を元気に走り回る子など、にぎやかでした。

＊＊＊

11月13日（日）
10：00～14：00
新宿みらい公園

こちらでも開催しますので、ぜひご来場ください。

建設業の未来のために
賃金引き上げ・若手の入職
第64回 大手企業交渉

参加企業に向けて、質問を投げかけました

10月19・20日（水・木）の2日間をかけて、大手企業交渉を開催。今回で64回を数えます。交渉先の参加企業は、鹿島・清水などスーパーゼネコンをはじめゼネコン各社から、大和ハウスなど大手住宅企業まで。6県連組合の参加者を分けて、交渉団を結成。葛飾支部の交渉先は、前田建設工業と住友林業でした。

今回の交渉での大きな確認事項は、○賃金引上げ、○社会保険未加入問題への対応、○法定福利費（会社負担分）の別枠請求などです。

19日の前田建設工業は、アンケート結果から、賃金引上げは予想より上がっていない現状を理解し、「契約段階ではしっかりと賃金上昇分・法定福利費分も含めて支払をしている。後継者不足も深刻な現状であり、下請企業に対して、賃金の引上げは継続して粘り強く言い続けるしかない。」との回答でした。

20日の住友林業は、「毎年下請業者と価格交渉を行っている。来年4月から法定福利費を別枠明示にするが、各社との契約については、現在も法定福利費込みで行っている。坪単価も毎年の価格改定で上げている。賃金がアンケート結果から上がっていないが、会社としても坪単価を上げるなど対応している。」などの回答がありました。

多くの大手企業が、賃金分・法定福利費分については、支払はしているとの回答が今後の全体の集約で集計されると予想できます。賃金が現場の労働者に渡りにくくなっている現状を、どのようにするのか。これは、現在の職人不足をどうするのかという問題にも直結することです。大手企業だけではなく、私達労働組合、そして国においても深刻な問題と捉えています。どの段階でどうするではなく、若手が入職できる、入職したい建設業界にするためにみんなが一緒になって考えていく必要があります。

第2回 リカコ説明会
リカコ会員、募集中

資料を見ながら、真剣に話を聞いていました

10月21日（金）、葛飾支部会館3階で、リカコ説明会を行いました。リカコとは、一般社団法人リフォームパートナー協議会の略です。これは住宅リフォーム事業の健全な発達及び消費者が安心してリフォームを行うことができる環境の整備のために、国土交通省が作った「住宅リフォーム事業者団体登録制度」の登録団体です。

組合員13人（11者）と講師などを含め、22人が参加しました。リカコの今後の展望、会員への登録方法についてなどの話をしました。

興味があるから、質問も…

資料の中には申込書も入っており、帰る前に記入して出してくれれば受け付けますと伝えると、帰り際、6者から申込みがありました。

会員の検討をしている方、気になる方がいましたら、お気軽にお問合せください。

元気な子どもたち
東水元分会 工作教室

指導員がひとりひとりに丁寧に教えます

10月15日（土）、東水元分会が工作教室を開催しました。地元の花の木児童館より工作教室の依頼がきて今年で3年目。今年も児童館まつりの一環として、工作教室を展開。12人が指導員として参加しました。

子供のけん玉パフォーマンスで、開会宣言。工作教室の開催は約2時間。その間に60人を対象に工作指導です。場所も狭く、1人約20分で対応しなければいけない状況で、工作材料を本立て1本に絞っていても、指導員は休む間もなくけっこう忙しい。順番待ちをしていた子どもたちは、順番が回ってくると、元気に「お願いします！」。指導員も元気に丁寧に対応しました。

今回も無事けがもなく、終了。参加されたみなさまお疲れ様でした。

秋の共済推進月間
今月いっぱいまで

9月から始まった秋の火災共済推進月間ですが、今月で最終盤を迎えます。以前入っていたけれど切れてしまった人や火災共済の見直しの時期が来ている人などいましたら、ぜひご検討ください。

また、家財（ご自身の持ち物）への保障はきちんとかけていますか。家そのものにはしっかりかけているけど、家財にはかけていないといった人もいるようですが、いざ火災が起こったときには必要な保障です。まだかけていない人はぜひどけん火災共済への加入をご検討ください。

火災共済の新規加入と口座の登録を同時に行うと、クオカード（５００円）をプレゼント。この時期に申し込んだ人限定のプレゼントです。

加入者向けのプレゼントの企画もあります。チラシは9月にお配りしています。お手元にない場合は支部までお問合せください。こちらは12月末が締め切りです。

最近の地震発生状況から、地震への備えを考える方も多いようです。地震への備えのない人はこれを機に考えてみてはいかがでしょうか。

火災共済　9月～10月

	目標	到達	成果
新小岩	3	1	●
西新小岩	3	0	
東新小岩	4	2	● ●
奥戸	6	0	
本田	3	0	
立石	3	0	
青戸	3	0	
お花茶屋	3	0	
堀切	4	0	
二葉	3	3	● ● ● 達成！
西亀有②	3	0	
亀有	5	3	● ● ●
細田高砂	6	0	
柴又	3	0	
新宿	3	0	
金町	3	0	
東金町	3	1	●
東水元	3	0	
北水元	3	3	● ● ● 達成！
幸田	4	0	
飯塚	3	0	
その他	3	0	

支部目標	加入数計
70	13

個人情報のお取り扱い

現在行っている就業実態調査の中で、個人情報についてのお問合せをいただきました。

東京土建の規約では『組合運動全般と組合内の諸活動で利用する以外は、利用目的を明確にし、組合員の同意を得た上で、適正な範囲で取扱います。』と利用範囲を定めています。また、『組合員個人情報を管理して資料の発送などを実施していることを考慮し、各専門分野・業務別に個人情報保護のための管理体制を実施するとともに、個人情報の収集・利用・提供においては規則に従い適切に取り扱います。』と収集・利用・提供及び守秘義務についても定めています。

これら規定に基づき、個人情報の利用を行っております。

今後とも個人情報の適正な利用を心がけてまいりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

歩いて、健康になろう
第4回 ウォーキング大会

ジャンケン大会に集まる子どもたち
３ＤＳをかけて、どの子も真剣です

今年で4回目となる支部ウォーキング大会。10月30日(日)、水元公園で開催しました。雨は降らなかったものの、空模様は曇り。ぐっと冷え込み、冬を感じさせる寒い日でした。それでも参加者は201人と、多くの人が集まってくれました。

水元公園内の催しの関係で今回は第一駐車場近くが、受付と出発地点。目印を用意しておいたお陰もあって、迷う人もほとんどなく、開始時刻には集まってくれました。

後藤委員長のあいさつの後、ウォーキング協会の指導の元、準備体操。寒いのでけがをしないように、体を伸ばします。しっかりと体を温めてから、出発です。

今回は例年より少し短い4．5ｋｍの距離を1時間ほどかけて歩きました。ゴールしてきた人には、お弁当と参加賞を配布。参加賞には抽選券が付いています。

お昼を食べ終わると、お楽しみの抽選会。寒いので、時間を繰り上げて早めに抽選を開始しました。今年は本数を減らし、いい景品をそろえました。また、景品が何かは抽選券を引く直前までは秘密。銀座千疋屋のお取り寄せスイーツや折りたたみ自転車など、発表のたびに、「おおっ」という声があちこちから聞こえてきました。

一番の盛り上がりを見せたのは、子供限定のジャンケン大会。３ＤＳをかけて、厚生文化部長の及川さんとジャンケンします。奮発して2本用意しておいたので、子どもたちの反応がすごかったです。

今年もたくさんの方々に参加してもらい、楽しいウォーキング大会となりました。

200人がスタート地点で、長い列を作って並びます

インドカレーに挑戦
女性の会　ヘルシークッキング

今年も、恒例のヘルシークッキングが4会場で開催されました。

女性の会では、毎年10月にヘルシークッキングという料理教室を開いています。これまで色々な料理を作っていますが、今回は本格的なインドカレー。フライパンを使ってナンを焼き、ひよこ豆のカレーとえびカレー、サラダ、ラッシーまで作りました。

生地を寝かしておく必要があるので時間は掛かりますが、ナンを作るのって結構簡単。フライパンで焼いて作れるので、家でも手軽に作れそうでした。最近ではサラダなどに使われていて見かけることも多いひよこ豆のカレーはしょうがやチリパウダーが入っているので、ちょっと辛め。えびカレーはみじん切りのたまねぎをたっぷり使った甘めのカレーです。どちらも定番です。サラダはドレッシングにつけておくので、生のたまねぎでもおいしく食べられます。ヨーグルトを使ったラッシーは、材料を混ぜるだけで朝食やおやつの時に簡単にさっと作れそうです。

クミンやコリアンダーなど、普段使わない香辛料が多いので、なかなか食べない変わった味を楽しめました。

作ったものはおいしくいただきました
（10月23日　亀有学び交流館にて）

今回は、本格インドカレー

マイブーム
目標は80歳まで
照井照夫さん(二葉)

照井照夫さん（二葉分会）

大好きな卓球を満喫中

はわ　　そ味夫と
という、二葉分会の照井照夫さん。長く続けてきた趣味でもありますが、今でもその熱は冷めていません。

一週間に一回。仕事が終わった後に卓球へ。または、卓球を楽しんだ後に仕事へ。

どんなに忙しいときでも合間を縫って、週に一回、日曜日に楽しんでいます。ちなみに、場所は自宅からちょっと行ったところにある亀有学び交流館です。自転車で通っているそうです。

忙しくても時間を作るのは、仕事を忘れてリフレッシュできるから。元気に仕事を頑張っていける理由の一つです。

今後の目標はと聞くと、80歳を過ぎても元気に卓球を続けることだそうです。これからも元気に卓球を楽しんで欲しいです。

健康教室　開催します

11月29日（火）19時より
支部会館にて
テーマ
『糖尿病と生活習慣病』
講師　高橋義徳先生
（亀有メディカルクリニック
理事長）

仲間の作品コンクール

《文芸部門》
短歌・俳句・川柳
一人につき一部門5作品まで応募可能

《写真部門》
組合活動・スナップ・風景
・課題『至福の瞬間』
一人につき一部門3作品まで応募可能

Ａ4サイズもしくは六つ切り・デジカメでの撮影も可

応募用紙は、インターネットからダウンロードするか、支部へお問合せください。

応募締切
２０１６年12月16日（金）
（本部必着）